

## 熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業（担当課：高校教育課）

県内高校生23名に対し、州立モンタナ大学附属の語学学校で語学研修を受講するための費用（一部）を助成しました。昨年7月21日から8月7日までの18日間、州立モンタナ大学で集中的な語学研修を受講したほか、地域の人々との交流を通じて異文化を体験するとともに、遺跡・文化施設や国立公園などでの研修で見聞を広めました。研修の前後でTOEFL Juniorの点数が上がったほか、海外留学への意欲や積極性がさらに高まるなど、大きな成果が出ています。

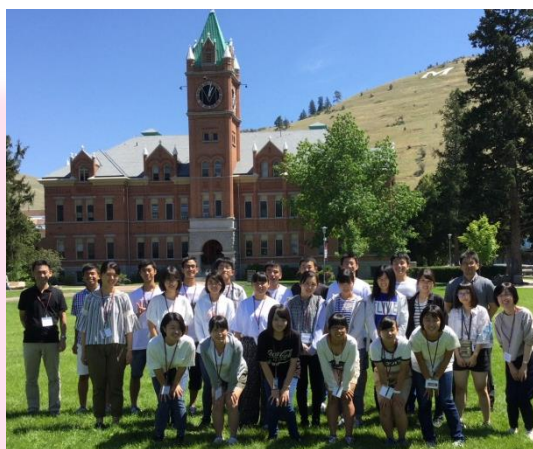
### 語学研修の内容

アメリカ文化の理解を通じて英語の4技能（読む・聞く・話す・書く）の力を伸ばすことが目的。

- ◆英会話ストラテジー：ロールプレイを交えながら、日常会話を練習。
- ◆ポスタープレゼンテーション：アメリカの食生活等のテーマを設定し、現地のイベントで見物客に聞き取り調査を行い、その結果をまとめて英語で発表。
- ◆フィールドキャンプ：グレーシャー国立公園にある大学附属の研究施設での研修を通じて学んだモンタナの自然環境等について英語でまとめ、発表。 など

### 助成対象者の声

- ・モンタナは想像以上に自然が豊かな所で、モンタナ大学のキャンパス内は緑であふれていて、野生のリスや鹿に遭遇することもありました。初めは、芝生に座るということに抵抗がありましたが、日にちが経つにつれて芝生が心地よく感じるようになりました。また、広くて真っ青な空の下で友人たちとサイクリングした時の気持ち良さは今でもはっきり覚えています。
- ・街頭で現地の人にインタビューもしました。現地の方々には私達の声に耳を傾け、現地のお金の使い方などを教えてくれました。宿題もたくさん出ました。その度にメンバーが毎日夜遅くまで教えてくれました。研修内容は実践的なものが多く、英語でのプレゼンテーションなどあまり経験のないものばかりでした。
- ・タベの活動でスーパーに買い物に行くことも何度かありました。会計を終えた後、レシートに書いてあるお釣りと実際に貰ったお釣りが違っていました。店員さんとうまく説明できるか不安だったので、何も言わずに帰ろうと思っていました。しかし、友人の勧めもあり勇気を出して店員さんに伝えてみると、理解してもらってきちんとお釣りを受け取ることができました。この経験から、英語を話すことを必要以上に怖がってはいけなないと気付きました。
- ・この研修を振り返って「何事もまずはやってみる」ということを学びました。渡米前は、初めての海外生活への不安ばかり心にありましたが、研修で出会った仲間やモンタナでの多くの温かい人たちとの出会い、様々なことに対する視野が広がりました。モンタナでのこの貴重な経験を生かして、大学進学後も自分の英語力をさらに向上させたいと思います。そして、英語を使ってあらゆることに挑戦していきたいと思います。本当にありがとうございました。



※熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業については、生徒の感想などをまとめた事業報告書（A4・60頁程度）を作成しています。部数に限りがありますので、ご希望の方は、お手数ですが最終ページのお問い合わせ先までご連絡いただきますようお願いいたします。